



多摩交流センターだより

「多摩交流センター開設25周年記念事業」のお知らせ

TAMA 市民詩吟を楽しむ会 吟詠発表会「東北に思いをはせて」

開催日時 3月7日(土) 14:00~15:00
場所 多摩交流センター 第2会議室
内容 「TAMA 市民詩吟を楽しむ会」による吟詠発表会です。東北地方の映像を投影・解説しながら、松尾芭蕉や石川啄木、宮沢賢治などの東北地方にちなんだ作家の作品を吟詠します。
募集人数 30人(先着)
参加費 無料
持参するもの 特になし
参加申込方法 当日直接会場へ
問合せ先 TEL: 080-3716-6602 (常澤)

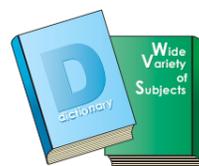


ヨガの会 ヨガ 基礎から応用まで

開催日時 3月8日(日) 10:00~12:00
場所 多摩交流センター 第2会議室
内容 ヨガは心身の健康維持と推進に効果があります。無理のない動きで気持ち良く、身体の芯から末端まで動かします。ゆったりと、身体と呼吸を見つめながら楽しみましょう。
募集人数 5人(先着)
参加費 無料
持参するもの 動きやすい服装、飲料水、バスタオル(ヨガマット可)、補助用タオル
参加申込方法 事前予約をお願いします(留守の場合はメッセージを残してください)。
問合せ先 TEL: 042-361-4627 (石橋)

ハッピー足法勉強会 足法を体験しませんか

開催日時 3月8日(日) 14:00~16:00
場所 多摩交流センター 第2会議室
内容 足法は、慢性筋肉疲労や、筋肉内のシコリを足圧で解放し、気血の巡りを良くして自律神経を正常に整えます。勉強会発足から3年、会員による日頃の勉強の成果を披露します。身体の芯から弛(ゆる)むのを感じてください。
募集人数 20人(先着)
参加費 1,000円(30分の足法体験と資料代を含む)
持参するもの フェイスタオル、飲み物、動きやすい服装
参加申込方法 できれば事前に電話またはメールで予約してください。
問合せ先 TEL: 090-2452-3840 (持田)
 Email: masako-mochida@kdb.biglobe.ne.jp



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2020年4月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は1回につき500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	教場
第1219回	4月2日(木) 14:00から	東京にもあった「関ヶ原の戦い」	葛城 明彦 氏 (日本史家、ノンフィクション作家)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
第1220回	4月12日(日) 14:00から	プラスチックの今と昔	国眼 孝雄 氏 (東京農工大学名誉教授)	柳沢公民館 (西武新宿線西武柳沢駅南口 徒歩1分)
第1221回	4月16日(木) 14:00から	戦争と文学	岡田 孝子 氏 (NPO法人現代女性文化研究所代表理事、元帝京平成大学教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
第1222回	4月23日(木) 14:00から	太平洋諸国の現状 ~気候変動と中国に翻弄される島嶼国	中西 武美 氏 (元JETRO職員・元太平洋学会会員)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

第120回 日本絵画にみる“雨と美術”

【講師】 齊藤 経生 氏

専門は日本・東洋の仏教美術史。早稲田大学大学院文学研究科博士課程満期退学。共立女子大学、法政大学ほか非常勤講師を歴任。日本・東洋の美術史を講義。女子美術大学名誉教授。2014年5月21日臺灣・國立臺中教育大學主催の第2回創藝論国際検討会にて「日本絵画に見る雨と美術」と題し研究発表。

【内容】 日本絵画では、日常生活の中でとかく敬遠されがちな雨や雪など、西洋の美術にはほとんどみられないモチーフを日本人独特の感性でとらえ、それを絵画の中で表現し、制作された多くの作品をみるすることができます。とくに江戸時代の「文人画(南画)」や「浮世絵」といわれる分野に多く描かれた雨の光景を伴う絵画作品は、それを忌み嫌う呪術的な意味、目的は感じられませんが、むしろ自然の一部を“美”としてとらえる日本人の洒落な感性が表出されたものといえるでしょう。平安時代の日本人固有の心情によって成立した“やまと絵”の伝統が継承されていることを踏まえ、日本人の自然感を考えます。なお絵画鑑賞と理解の一助としてスライド映写を多用します。



日時 2020年4月19日(日) 14:00~16:00
場所 多摩交流センター会議室
 府中駅北第2庁舎6F(府中市寿町1-5-1)
 (京王線 府中駅北口 徒歩3分)
 ※駐車場はありません。ご注意ください。

申込方法 当日会場にお越しください。先着50名までとさせていただきます。
受講料 無料
問合せ先 多摩交流センター内 TAMA市民塾
 TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F
 TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127
 ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/>(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- 弥生3月、年度末になりました。今年はやや暖冬とは言えるもののまだ外気は冷たく感じられますが、春はもうすぐそこまで来ています。冬ごもりしていた虫たちが地中から目覚めて出てくる頃といわれる「啓蟄(二十四節気)」は3月5日、昼と夜の長さが同じになる春分は3月20日で、来月からはよいよ令和2年度が始まります。
- 皆さんも、新年度の準備に多忙な日々をお過ごしのことと思います。当調査会も新年度の調査研究テーマ(内容は来月号に掲載予定)が決まり、4月からの調査開始に向けて準備を進めているところです。
- さて、新型コロナウイルスの動向が大変気になるころですが、先月末で2020東京オリンピック大会開幕まで150日、パラリンピック大会までは180日を切りました。今月26日には福島県楡葉町の「ヴィレッジ」からオリンピック聖火リレーがスタートします。聖火は全国を巡った後に、最終の東京都に入ります。聖火が東京都ルートを回るのは開会式2週間前の7月10日(金)からですが、その5日前の7月5日(日)には東京都知事選挙も予定されており、忙しい夏を迎えることになりそうです。
- オリンピック・パラリンピック大会については観戦チケットを入手できた人、テレビでお気に入りの競技・選手・チームを応援

することにした人など、多くの人が様々なかたちで楽しみにしていると思います。来年度の前半はオリンピック・パラリンピック大会に向けてスポーツの話題で盛り上がることでしょう。

○ 一方、年度後半を展望すると、「祭りのあと」で、オリンピック後の景気後退に伴う経済の減速や10月で残任期1年を切る衆議院の解散総選挙、11月の米大統領選挙などの政治や経済状況がクローズアップされると予測されています。なかでも経済の減速は人口減少・高齢化が進む多摩・島しょ地域の自治体運営にも大きな影響があります。社会保障費の増加や子育て支援、インフラの更新など、見込まれている経費増だけでなく、予期せぬ災害にも備えなければならず、課題山積みの各自治体の財政を直撃します。

○ 厳しい財政見通しが予測されていますが、このような状況にあるからこそ、多摩・島しょ地域の自治体同士が一層連携して効率の良い事業運営を図ることが、益々重要となります。当調査会も調査研究等を通じて、自治体連携や市民協働等の方法について提案を行い、多摩・島しょ地域の皆さまのお役に立つよう努めて参ります。

(M.N)